

清水遺跡(1地区)第2次発掘調査説明資料

財団法人山形県埋蔵文化財センター 平成23年10月15日

調査要項	
遺跡名(番号)	しず清水遺跡(平成11年度新規登録)
所在地	山形県村山市市大字名取字清水
時代・種別	平安時代・集落跡
起因事業	東北中央道(東根~尾花沢間)
調査依頼者	国土交通省山形河川国道事務所
調査機関	財団法人山形県埋蔵文化財センター
現地調査	平成23年5月16日から10月27日まで
調査面積	4450㎡
調査担当者	調査研究員 天本昌希(現場責任者) 調査員 五十嵐萌 岩崎恒平
調査成果(10月15日現在)	
検出遺構	平安時代: 竪穴住居跡3 土坑 柱穴
出土遺物	平安時代: 土師器(坏、甕)、須恵器(坏、甕) 縄文時代: 土器 石器

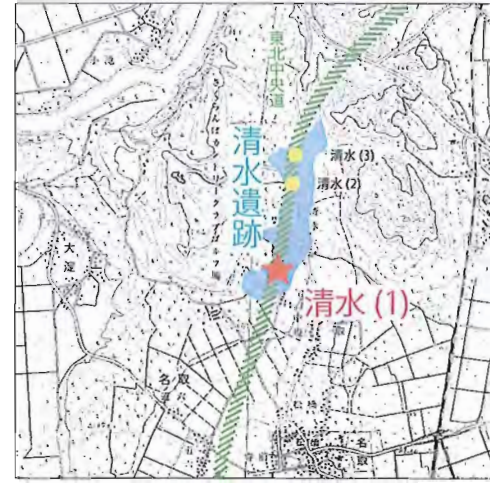


図1 清水遺跡位置図(1/50,000)

1 調査の概要

清水遺跡は村山市のほぼ中央、さくらんぼカントリークラブのある最上川右岸の丘陵裾部に位置し、清水集落のほとんどを含む広大な遺跡です(図1)。遺跡の西半部に高速道路の建設が計画されたため、建設に先立って発掘調査を実施しました。遺跡の面積が広大で、調査地点が分かれるため、遺跡の南から清水遺跡(1地区)、北部を清水遺跡(2~4地区)として、昨年より調査を実施しています。

2 見つかった遺構と遺物

清水遺跡(1地区)の調査区は、A~F区まであり、低地部のA・D区、丘陵部のB・C・E区、丘陵斜面部のF区に分かれています。

A・D区は、丘陵間の谷間にあたり、水田として利用されていました。雨が降ると水びたしになってしまう場所ですので、居住には

向きませんが、豊富な水源は生活の基盤となるものです。ここからはその水を利用するためと考えられる溝が多く検出されました。足場の確保や、水を貯めるための矢板の支柱に使用したものか杭列が検出されました(写真2)。22年度の調査では、祭祀に関係すると考えられる大量の土器も出土しています(写真3)。23年度はさらに下層の、より古い時代の溝の調査を行いました。遺物はほとんど出土していません。

B・C・E区は丘陵部にあり、水はけの良い地区のため、住居跡が数多く検出しています。E区の調査では、3軒の住居跡をはじめ、多くの遺構が検出されました。そのひとつ、ST1158住居跡は、住居が廃絶されたあと、10世紀初頭に噴火した十和田火山の火山灰によって埋没していました(写真7・8で白く見えるもの)。出土した土器の形状などから、この住人は9世紀後半頃にこの地で生活を営んでいたと判断されますが、10

世紀初頭にはこの家を離れていたと考えられます。この火山灰は、今年度の調査で検出したほか2軒の住居でもST1158ほど厚く確認できませんが、堆積土層中にまだら状に含まれています。土器の形状から判断しても、ほぼ同時代の住居跡と判断できます。

加えてすべての住居跡は、南側にカマドをもつという特徴があり、これらの住居がばらばらに建てられたものではなく、一定の企画性をもって建てられていることがうかがえます。なお、22年度の調査で検出した住居跡5軒も同様のことがいえます。

F区は丘陵斜面部に位置し、勾配がきつく、居住には向かないので、住居跡などの施設は検出されず、土坑や区画のための溝などが数基検出されました。遺物はほとんど出土しませんでした。



写真1 遺跡全景(南から)



写真3 A区溝跡遺物出土状況(H.22年度)

3 まとめ

本遺跡で検出された住居跡は、出土した土器や堆積した火山灰などから、ほぼ同時代のものと判断され、企画的に建てられています。一定の集団が開拓などの理由で短期間でつくりあげ、短期間のうちに離れた集落跡と考えられます。この集落は、低地部の豊富な水を利用し、居住は水はけの良い丘陵裾部に設けていましたが、F区など北西側に住居跡は検出されていないことから、集落は東側に展開していることが予想されます。今回の調査で清水遺跡南部の集落の西端を確定できたといえます。

本遺跡の調査は、当地区の平安時代の村山郡を検討する上で重要な成果となります。今後は出土遺物の整理と、ほか遺跡の調査成果をあわせ、清水遺跡全体の評価を定めることとなります。

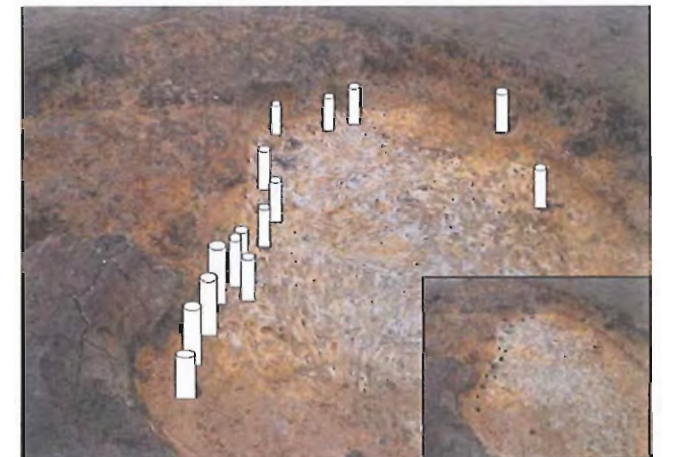


写真2 A区溝跡検出の杭列復元(H.22年度)



写真4 E区調査前風景(北から)



写真5 A区溝跡調査状況(北から)



写真7 ST1158住居跡調査状況(南から)



写真8 ST1158住居跡火山灰検出状況(北から)



写真9 E区遺構検出状況全景(北から)



写真6 A区溝跡調査状況(南から)



写真10 E区調査風景(北から)

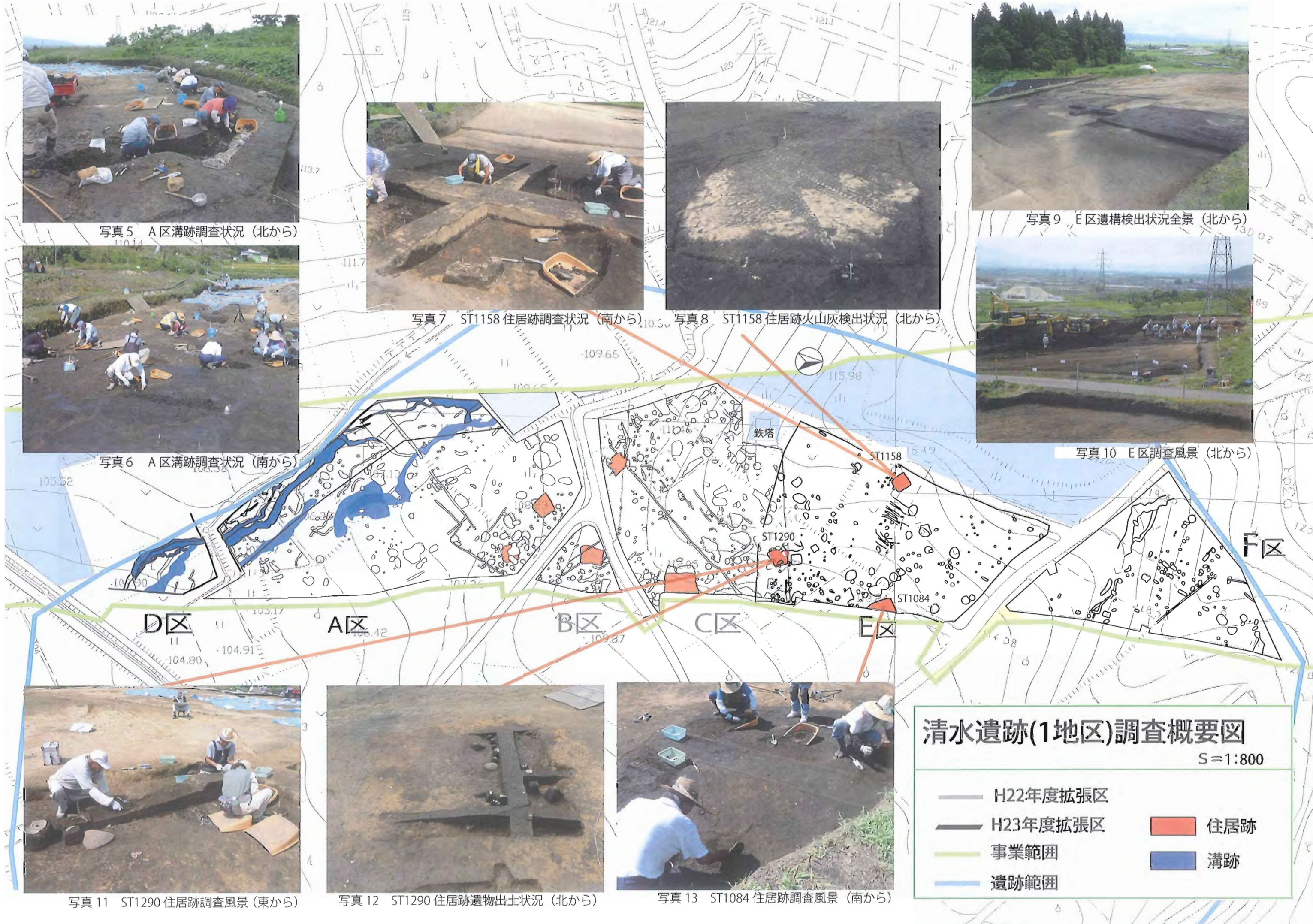


写真11 ST1290住居跡調査風景(東から)



写真12 ST1290住居跡遺物出土状況(北から)



写真13 ST1084住居跡調査風景(南から)

清水遺跡(1地区)調査概要図

S=1:800

- H22年度拡張区
- H23年度拡張区
- 事業範囲
- 遺跡範囲
- 住居跡
- 溝跡